



うちのイチ押し!

オンラインで楽しむミュージアム

大阪歴史博物館



大阪歴史博物館を おうちから楽しもう!

大阪歴史博物館では、大阪の歴史・文化をご自宅で感じられるさまざまなコンテンツを公開しています。公式YouTubeチャンネルでは、学芸員による展示解説などを紹介しています。

また、公式Twitterでは大阪の歴史を楽しく学べる情報を発信しています。そのほか、「おうちで楽しむ なにわ歴博」では、「船場の街並み再現模型」のストーリー解説や、「大阪名所双六」の配信もしております。こちらもお見逃しなく!



公式YouTubeチャンネル



公式Twitter

住所 〒540-0008 中央区大手前4丁目1-32
電話 6946-5728 FAX 6946-2662
HP <http://www.mus-nh.city.osaka.jp/>

大阪市立美術館



フォトギャラリーで 大阪市立美術館の歴史を味わおう!

登録有形文化財に登録されている大阪市立美術館は、令和4年秋から大規模改修工事が始まり、新たな姿へと生まれ変わります。そこで、大阪市立美術館の建物の歴史を振り返ってみましょう。

昭和11年に開館した当時の様子や航空写真、細かいディテールまでご覧になることができます。

特に中央ホールは、豪華なシャンデリアや大理石が使われたヨーロッパ風のデザインに加え、イスラム風のアーチ装飾が目を引きまします。

この機会に、建物の歴史を振り返って、新たに生まれ変わる美術館に思いをはせてみてはいかがでしょうか。



美術館中央ホール



美術館彫刻室(開館当時)

住所 〒543-0063 天王寺区茶臼山町1-82
電話 6771-4874 FAX 6771-4856
HP <https://www.osaka-art-museum.jp>

三木楽器本店 — 心齋橋筋のモダンで優雅な建築 —

大阪の商店街を代表する心齋橋筋は、江戸時代に遊郭のあった新町と芝居小屋のあった道頓堀を連絡する街として始まり、その頃からすでに国内最大級の商店街でした。そのため明治6(1873)年に長堀川(1960年代から埋め立てられ、今はクリスタ長堀)に架かる心齋橋が木橋からドイツ製の鉄橋に架け替えられ、明治42(1909)年には、その鉄橋がゴシック様式の石橋にリニューアルされたりと、大阪の新しいモノ・コトがここから発信されてきました。

大正14(1925)年、大阪市は周辺の町村を合併して人口280万人の「大大阪」となりました。その頃の心齋橋筋のようすを伝えるのが今回紹介する三木楽器店です。大正時代の末に建築された鉄筋コンクリート造、地下1階・地上4階の建物で、平成9(1997)年9月に大阪城天守閣とともに国の登録有形文化財になっています。

建築主は、文政8(1825)年創業の書籍問屋「河内屋」の4代目、三木佐助です。佐助は早くも明治21(1888)年から洋楽器の販売を始め、創業100年を機に社屋の新築をおこないました。設計はモダニズム建築家としてやがて名をはせる増田清(エッセイスト・阿川佐和子さんの祖父)、施工は鴻池組がおこないました。また、著名なステンドグラス作家である木内眞太郎の作品も心齋橋筋に面した入口欄間に見ることができます。建物北側の北久宝寺町通の方へ回ってみると、当時流行していたアール・デコと呼ばれるモダンで優雅な建物の外観をうかがうことができます。

佐助は明治33(1900)年に「鉄道唱歌」第一集(東海道編)を発行し、その販売促進のため、楽隊を編成し、客車を借り切って東海道を走らせたことでも知られます。「汽笛一声新橋を・・・♪」のメロディーが頭をよぎると、新年にはどこかへ旅行に、との思いになります。

(大阪市教育委員会事務局 文化財保護課)



三木楽器本店北面(中央区北久宝寺町3-3-4・内部の一般公開はしておりません)



おおさか

歴史探訪

163

大阪の史跡や歴史資料を毎月連続でご紹介します。